



大分県議会議員 2021年 夏号
県民クラブ会報「県民ひろば」別府市版

原田たかし 会報

教育・福祉・労働

子どもたちが「生まれてきてよかった」、
高齢者の方々が「長生きしてよかった」と
思える社会を実現するために。

大分県議会議員 原田 孝司

発行責任者：大分県議会・県民クラブ 原田孝司

連絡先：別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所 TEL・FAX 0977(25)0011 E-Mail harada@ctb.ne.jp

2021年大分県議会第1回臨時会行われる

5月31日(月)、2021年第1回臨時会が行われ、新型コロナウイルス対策を計上した一

般会計補正予算案が可決されました。
(詳細は2面に掲載)

2021年大分県議会第2回定例会行われる

～ワクチン接種を加速、ホーバー調達費、「さくらの杜高等支援学校」を来春開校～

6月15日(火)から30日(水)にかけて、2021年第2回定例会が行われました。今定例会では、開会日初日に補正追加分として、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種を担う医療機関への支援策や、生活福祉資金の原資拡充などを盛り込んだ補正額19億2,500万円の補正案を先行審議し、原案通り可決しました。

最終日には、18億9,287万円と最終日に緊急提案された25億6千万円の補正を可決しました。内容は、大分空港と大分市を結ぶホーバークラフトの調達費や関連事業費などです。船体は約42億円を上限に3隻を導入する方針で、船体の調達費は年度をまたぐ

支出となるため残額は債務負担行為^{注1}を設定しました。さらに、ホーバー発着地整備に向け、大分港西大分地区の民有地を取得します。

また、来年4月に現在の聾学校（大分市東大道）の敷地内に、産業技術専門で、一般就労を目指す知的障がいのある生徒を受け入れる高等特別支援学校の名称を「さくらの杜^{もり}高等支援学校」と決定しました。



注1 予算は単年度で完結するのが原則ですが、1つの事業や事務が単年度で終了せず以後の年度においても「負担=支出」をしなければならない場合には、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めておきます。これを債務負担行為といいます。

選択的夫婦別姓制度の導入に向けた議論を

民法では結婚にあたり、「夫または妻の氏を称する」と定めていますが、実際に姓を変更しているのは96%が女性です。日本は夫婦同姓を法律（民法及び戸籍法）により定めている唯一の国として、国連の女性差別撤廃委員会より再三勧告を受けています。

残念ながら、先日最高裁判決は、再び夫婦同姓を合憲とする判断が示されました。しかし、判決文には「この種の制度のあり方は国会で論ぜられ判断

されるべき」と書かれています。国会の役割として活発に議論すべきだと考え意見書案を提出しました。

採決では、僅差で採択されませんでした。諦めません。



会派を代表して
意見書案を提案

別姓

折り鶴に込めた願い

原田孝司のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。
背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。